

目標達成計画

作成日：平成 23年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所時に理念を作成したが、文章が長く理解しにくい。また、職員の思いや考えも変化、成長しており、今のホームには即していない。	誰が見ても分かりやすく、思いが伝わるような理念を、新たに作成する。	全職員にホームの目指す姿、ケアに対しての姿勢などをBS法にて書き出してもらい、それを基に、全員で話し合い新たな理念を作成する。	1ヶ月
2	33	重度化や終末期における、ホームでの支援方針が明確になっておらず、本人や家族の意向も存分に傾聴できていない。	重度化や終末期についての方針を、作成する。	全職員が終末期ケアについて学ぶ機会を設け、終末期ケアについて理解を深める。全職員で話し合い、ホームでの方針を決定する。	6ヶ月
3	20	馴染みの関係継続における支援は、本人の訴えを待っている現状であり、積極的に行えていない。	馴染みの人や場所を書く用紙を儲け、本人の生活暦や、家族より情報を得る。	アセスメントシートの中に記録する箇所を設ける。 入所時や面会時に家族より話しを聞かせてもらう。本人との普段の会話より、情報を得る。 情報を基に、アセスメントシートに記入。	12ヶ月
4	45	浴槽が広く特殊な形状のため、十分な補助用品をつけられず、今後安全面で不安になる恐れがある。	出来る限り使用できる安全補助用品は設置を行い、出来ない面はスタッフのケアにて安全を確保していく。	浴室環境の見直しを行い、足りない物品等あれば設置する。 入浴介助の方法を定期的に確認し、危険回避のため、ケアの統一を図っていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。